2025年 3月 5日

高次救命治療センターの入院診療を受けられた患者さんへ

「腹部コンパートメント症候群における腹直筋膜切開術に関する既存情報を用いる研究」への協力をお願い

高次救命治療センターでは、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2021年5月1日～2023年4月30日の間に、当科において、腹部コンパートメント症候群に対して腹直筋膜切開術手術を受けられた20歳以上の方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2025年12月31日

研究目的・利用方法：

腹部コンパートメント症候群は臓器障害を伴う腹腔内圧が上昇する病態ですが、臓器障害が発生する場合は腹腔内圧減少のために外科的腹部減圧を行います。その外科的圧術として減圧開腹術が推奨されていていくつかの手術方法があります。当施設で腹部コンパートメント症候群に対する外科的減圧術として腹直筋膜切開術が有用であった患者さんについて情報を収集します。

研究に用いる情報の項目：

日常診療で実施された項目について診療録から情報を収集します。これらは全て日常診療で実施された項目です。

治療経過中の検査・評価項目

基本情報：年齢、性別

一般身体所見：血圧、体重、体温、脈拍、

血液検査：白血球数、ヘモグロビン、血小板数

血液ガス検査：FiO₂、PH、PaCO₂、PaO₂、HCO₃、BE、Lac

生化学検査：総タンパク、アルブミン、AST、ALT、フィブリノゲン

尿検査：蛋白、糖

自覚症状、治療薬、腹腔内圧

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：

2025年3月10日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合に

は研究対象といたしませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
氏名：福田 哲也

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
電話番号：058-230-6448
氏名：福田 哲也

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸1番1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp